

Course number		U-LAS25 10001 SO48						
Course title (and course title in English)	イタリア語Ⅰ（文法）I101 Italian I (Grammar)				Instructor's name, job title, and department of affiliation	Part-time Lecturer,KATAYAMA HIROSHI		
						Part-time Lecturer,KUNISHI KOUSUKE		
Group	Languages			Field(Classification)				
Language of instruction	Japanese			Old group	Group C		Number of credits	8
Number of weekly time blocks	2	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・Year-round		
Days and periods	Tue.5・Fri.4		Target year	All students		Eligible students	For all majors	
[Overview and purpose of the course]								
この授業は各自が専門とする領域のイタリア語の文献を読む能力の基礎を形成することを目指としている。イタリア語の文法の基礎をしっかりと学び、比較的簡単なレベルの読物を自力で読める程度の読解力をつける。								
[Course objectives]								
比較的簡単なレベルのイタリア語の読物を自力で読める程度の読解力とそれを支える文法の基礎力を身につける。								
[Course schedule and contents)]								
教科書を中心に文法の基礎を身につけていく。読解については、教科書各課の会話文によって平易な文章に慣れることから始め、後期の授業の終わり頃には、ある程度のレベルの講読をも行う。2名の担当教員は密に連絡を取りながら一体感をもって授業を進めていく。								
前期は、文法事項については以下の予定で学習する。								
第1週 発音と表記								
第2週 名詞の性数、冠詞								
第3週 essere(be動詞)、形容詞、指示形容詞・代名詞								
第4週 存在文、前置詞と定冠詞の結合形、数詞								
第5週 復習								
第6週 avere、名詞・形容詞の特殊変化								
第7週 直説法現在の規則変化、所有形容詞・代名詞								
第8週 直説法現在の不規則変化								
第9週 直接・間接補語人称代名詞								
第10週 直説法近過去								
第11週 復習								
第12週 補語人称代名詞の複合形、ci・ne・lo								
第13週 再帰動詞								
第14週 直説法半過去(1)								
第15週 直説法半過去(2)								
第16週 フィードバック								

Continue to イタリア語Ⅰ（文法）I101(2)								

イタリア語Ⅰ（文法）I101(2)

また、後期は、文法事項については以下の予定で学習する。

- 第1週 命令法
- 第2週 直説法未来・前未来
- 第3週 受動態、非人称のsi・受け身のsi、非人称動詞
- 第4週 比較級・最上級
- 第5週 直説法遠過去
- 第6週 直説法大過去、関係詞
- 第7週 接続法現在・過去
- 第8週 接続法半過去・大過去
- 第9週 条件法、仮定文
- 第10週 ジェルンディオ、現在分詞、過去分詞構文
- 第11週 読解と総合復習（1）
- 第12週 読解と総合復習（2）
- 第13週 読解と総合復習（3）
- 第14週 読解と総合復習（4）
- 第15週 期末試験 / 学習到達度の評価
- 第16週 フィードバック

前期・後期とも以上のような予定で進めて行くが、授業参加者の理解度に応じて進度が多少変わる場合もある。

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

成績については、前期は平常点のみ、後期は提出課題と期末試験によって評価を行う。
成績評価基準の詳細については、授業中に説明する。

[Textbooks]

小林惺『イタリア語2 1課』（白水社）ISBN:978-4560017562

基本的に教科書に沿ってイタリア語文法の基礎を学習する。後期の途中で文法の学習が一通り終わると、片方の授業は読解中心となる。辞書は必ず小学館『伊和中辞典』あるいは白水社『フリーモ伊和辞典』を用意すること。これより下のレベルの辞書では授業に対応できない。もちろん、電子辞書でも『伊和中辞典』が入っていれば構わない。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

教科書や課題として指定されたプリントの練習問題は必ず予習すること。また読解プリントも次に読むであろう部分は、辞書で語彙を調べ、文法事項を確認しながら、あらかじめ意味を考えておくことが必要である。さらに、動詞の活用をしっかりと覚えることが復習の中心部分を占める。

[Other information (office hours, etc.)]

授業内容に関する質問はサイト（<https://ciao-italiano.ssl-lolipop.jp/edu/kyodai-grammatica/>）のコメント欄で常時受けるので、遠慮なく積極的に質問していただきたい。